

平成 23 年度第 1 回臨時理事会議事録

日時 平成 23 年 4 月 16 日（土） 12:00～12:50

会場 大阪国際会議場 10 階「1009」

出席者

理事長：吉村 泰典

副理事長：落合 和徳、和氣 徳夫

理事：石河 修、井上 正樹、岩下 光利、岡井 崇、片渕 秀隆、嘉村 敏治、吉川 史隆、
木村 正、工藤 美樹、倉智 博久、小西 郁生、櫻木 範明、杉浦 真弓、武谷 雄二、
平原 史樹、深谷 孝夫、星合 昊、峯岸 敬、八重樫 伸生、吉川 裕之

監事：岡村 州博、星 和彦、丸尾 猛

第 64 回学術集会長：平松 祐司

幹事長：矢野 哲

副幹事長：澤 倫太郎

幹事：内田 聡子、梶山 広明、金内 優典、北澤 正文、久具 宏司、小林 陽一、榊原 秀也、
下平 和久、高倉 聡、多賀谷 光、津田 尚武、永瀬 智、濱田 洋実、阪埜 浩司、
藤原 浩、増山 寿、渡部 洋

議長：松岡 幸一郎

副議長：佐川 典正、清水 幸子

専門委員会委員長：齋藤 滋

理事会内委員会委員長：海野 信也、竹下 俊行

弁護士：平岩 敬一

事務局：荒木 信一、桜田 佳久、青野 秀雄

12 時 00 分 理事長、副理事長、常務理事、理事の総数 23 名の全員が出席し定足数に達したため、吉村理事長が開会を宣言した。吉村理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長、岡村監事、星監事、丸尾監事の計 4 名を選任し、これを承認した。

I. 平成 22 年度第 4 回理事会議事録（案）の確認

原案通り、承認した。

II. 業務担当理事報告並びに関連協議事項

1) 総務（岩下光利理事）

〔I. 本会関係〕

(1) 会員の動向

- ①山本豊作功労会員（長野）が 2 月 24 日に逝去された。（長野地方部会より 3 月 10 日報告受領）
- ②岡部忠夫功労会員（埼玉）が昨年 11 月 24 日に逝去された。（埼玉地方部会より 3 月 11 日報告受領）
- ③松元重達功労会員（鹿児島）が 3 月 30 日に逝去された。（鹿児島地方部会より 4 月 7 日報告受領）
- ④秋山精治功労会員（福島）が 4 月 4 日に逝去された。（福島地方部会より 4 月 11 日報告受領）

また今回の震災のため、齋藤瑞磨会員（宮城）、齋藤英夫会員（宮城）、加藤東一郎会員（福島）が逝去された。

(2) 平成 22 年度入会年度別・卒業年度別新入会員数および平成 22 年度末会員数について

[資料：総務 1]

吉村理事長「平成 22 年度の新入会員（産婦人科医）は 491 名である。ここ 4～5 年、500 名近くに回復している。」

(3) 本会の公益法人化について

公益法人申請については、総理大臣からの認定(3月22日)を受けて4月1日に登記した。

吉村理事長「基礎領域 18 学会の中では 1 番早く公益法人化した。今後は理事・監事の責務は一段と重くなる。しっかりやって行きたい。」

公益法人関連記事 4月1日付 日経新聞「公益法人活動速やかに 被災者支援後押し」

[資料：総務 2]

(4) 理事・監事候補者について [資料：総務 3]

(5) 総会運営委員会委員・決算委員会委員について [資料：総務 4]

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(6) 平成 23 年度臨時総会の総会議長・副議長の選任について

総会議長・副議長は代議員改選後の総会に於いて選任される。平成 23 年度臨時総会の総会議長・副議長の選任については、第 1 議案に於いて挙手により議長団を選任する手続きとしたい。

(7) 平成 23 年度臨時総会議案及びビジネス会議のスケジュールについて

代議員からの質問・要望事項及びその対応については後半“Ⅲ. 平成 23 年度総会運営について”で協議する。 [資料：総務 5]

(8) 役員と代議員の兼務禁止ルールについて [資料：総務 6]

岩下理事「臨時総会で選任された新役員は兼務禁止ルールに則り速やかに代議員を辞任すること、また 6 月に退任する役員は定時総会まで代議員を兼務できる、としている。」

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(9) 理事会、常務理事会の議事録署名人について [資料：総務 7]

新定款により、本理事会以降に開催される理事会の議事録署名人は出席した理事長と監事が記名押印する。常務理事会については特に定めはないが、理事会と同様としたい。

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(10) ガイドライン作成委員会委員（産科編）およびガイドライン評価委員会委員（産科編・婦人科外来編）の任期を 6 月定時総会まで延長することについて [資料：総務 8]

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(11) 東日本大震災への本会の対応について

① 対策本部の設置および対応について [資料：総務 9]

② 担当校方式による人的支援スキーム [資料：総務 10]

③ 内閣、厚生労働省、東京都等への要望書提出 [資料：総務 11]

- ・被災地への医療器具、薬品、母子のケア用品供給の要望書
- ・褥婦受入れについての要望書
- ・『ディナゲスト錠 1mg』の迅速審査の要望書
- ・被災者妊婦検診公費負担制度の取扱いについての要望書

④ ホームページからの情報発信 [資料：総務 12]

- ・放射線被曝に対して心配している妊婦等への案内（ヨウ素カリウム投与）

- ・軽度汚染水道水に対して心配している妊婦等への案内
- ・災害時の乳幼児栄養についての指針

吉村理事「被曝状況の変化に対応してタイムリーに妊婦・授乳中の女性に参考になる学術的な見解を出しており、また今後も同様に対応して行くことをご了承いただきたい。」

関連新聞記事 3月26日産経新聞「ヨウ素検出水道水 妊婦も普段通り生活を」[資料:総務13]
4月5日読売新聞「放射線の心配ネットで解説 専門家が分かりやすく」

⑤患者受入れ並びに医療従事者派遣に関するアンケートの発出 [資料:総務14]

(12) 第63回学術集会の延期について[資料:総務15、15-1]

4月15日～17日に開催を予定していた第63回学術集会は、東日本大震災のために延期し、8月29日～31日にリーガロイヤルホテル大阪を主会場にして開催することとしたい。

星合第63回学術集会長「関係各位のご努力により、当初のプログラム通りの会場を確保できた。月～水曜開催になったが、商業展示やポスターも当初と同じ会場となる。」

吉村理事「日曜日午後3時ごろから東日本大震災に対する公開講座を行うことも検討している。」
特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(13) 専門委員会

(イ) 生殖・内分泌委員会

①ホルモン補充療法ガイドライン頒布状況について

4月6日現在、入金済5,030冊、校費支払のため後払希望4冊。

(ロ) 婦人科腫瘍委員会 特になし

(ハ) 周産期委員会

①本会の新型インフルエンザ対策への協力に対して、厚生労働大臣からのお礼状を受領した。
[資料:総務16]

(ニ) 女性ヘルスケア委員会

①同委員会から緊急避妊法の適正使用に関する指針普及版の製作許可依頼を受領した。
[資料:総務17]

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

②同委員会から平成22年度事業報告書、平成23年度事業計画書の最終版を受領した。
[資料:総務18]

(14)メルクセローノ社からヒト遺伝子組換えLH製剤の早期導入について、生殖・内分泌委員会で検討の上、本会から厚生労働省に申し入れて頂きたいとの要望書を受領した。 [資料:総務19]
特に異議なく、生殖・内分泌委員会で対応することにつき、全会一致で承認された。

(15)徳島大学の苛原先生より依頼のあった、GnRHアンタゴスト製剤の在宅自己注射に関する要望書を3月2日に厚生労働大臣、同省医政局長(医薬食品局長あてに出し直しの可能性)および日本医師会あてに提出した。 [資料:総務20]

(16)松崎進元事務局長が3月21日に逝去された(享年79歳)。松崎氏は昭和29年9月から平成9年6月までの42年10ヵ月(事務局長としては昭和30年から平成6年までの24年間)勤務された。生花および弔電を手配した。

(17)荒木事務局長との事務局顧問契約および職員就業規則の改定について [資料:総務21]
特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

〔Ⅱ．官庁関係〕

(1) 厚生労働省

今回の震災に関して、厚生労働省より以下の周知及び協力依頼が出され、HP 掲載して会員に周知した。
[資料:総務 22]

- ①東北地方太平洋沖地震被災地における妊産婦、乳幼児への対応および被災者に係る健康診査事業等の対応について（雇用均等・児童家庭局母子保健課 3月14日）
- ②東北地方太平洋沖地震で被災した妊産婦、乳幼児の住居の確保及び出産前後の支援について（雇用均等・児童家庭局母子保健課・家庭福祉課、社会・援護局総務課 3月22日）
- ③東北地方太平洋沖地震に係る特定不妊治療費助成事業の申請期限の延長について（雇用均等・児童家庭局母子保健課 3月23日）
- ④東北地方太平洋沖地震および長野県北部の地震の被災に伴う出産育児一時金等に係る医療機関等の取扱いおよび直接支払制度の積極的活用について（保険局総務課 3月24日）
- ⑤被災地の医療機関からの転院希望患者に係る受入医療期間について（医政局指導課 3月24日）

(2) 文部科学省

研究振興局ライフサイエンス課から、「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の疑義解釈」についての周知依頼があった。HP に掲載して会員への周知を図りたい。 [資料：総務 23]
特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

〔Ⅲ．関連団体〕

(1) 日本医学会

- ①東北地方太平洋沖地震のため、第28回日本医学会総会（4月8日～10日）は学術集会形式の講演会・博覧会を中止とし、電子媒体やWEB で開催することにする旨、通知があった。 [資料：総務 24]
- ②日本医師会が行っている女性医師バンク事業について、日本医学会から分科会理事長あてに、各学会会員への周知依頼があった。本会 HP に掲載して対応したい。 [資料：総務 25]
特に異議なく、本件は全会一致で承認された。
- ③日本医学会を通して、厚生労働省医政局から「臨床研究に関する倫理指針に基づく倫理審査委員会情報の報告について」の本会会員への周知依頼があった。本会 HP に掲載して対応した。
[資料：総務 26]

(2) 日本病理学会

同学会から、「癌取扱い規約の印税の支払いについては分担したページ数に按分した各学会への印税の支払いが望ましい」として、本学会が代表して受領していた子宮体癌取り扱い規約と絨毛性疾患取り扱い規約の印税の受取り方式の変更の申し入れがあり、応諾した。 [資料：総務 27]

(3) 日本小児科学会

日本未熟児新生児学会が作成した「正常産新生児の診療指針（案）」についての内容確認依頼を日本小児科学会から受領した。これに対して、正常新生児の診療のような境界領域についての指針は小児科医と産婦人科医が共同して作成すべきではないか、との意見を日本産婦人科医会と共同で提出した。その結果、小児科学会、医会、学会の3学会合同会議が開催されることとなり、本会からは次期周産期委員長の海野先生とガイドライン産科編委員長の水上先生が出席する。 [資料：総務 28、29]

武谷理事「正常新生児については、小児科、産婦人科が協調して進めるのが筋ではないかと思う。」

吉村理事長「医会からも意見があると思うので医会にも加わってもらい、小児科、産婦人科の合同で出すことになるのではないかと思う。」

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(4) 日本がん治療認定医機構

同機構より、5月10日に開催する2011年度関連学会連絡委員会への出席依頼を受領した。

[資料：総務 29-1]

(5) 禁煙推進学術ネットワーク

同ネットワークの委員会は名古屋で開催されることもあり、今後は本会から梶山先生に出席いただくこととした。[資料：総務 30]

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。なお6月の同委員会には、梶山先生が石巻の応援に出られるため、吉川(史)先生が出席される。

[IV. その他]

(1) 日本母体胎児医学会より、産婦人科後期研修医向け産婦人科超音波セミナー（開催日：平成23年7月23～24日、会場：順天堂大学医学部10号館）およびコメディカル向け産科超音波セミナー（開催日：平成23年7月3日、会場：順天堂大学浦安病院）の後援依頼があった。

経済的負担はなく、後援を応諾したい。

(2) 日本母乳の会より、第20回母乳育児シンポジウム（開催日：平成23年8月6日～7日、会場：京都市 みやこめっせ）の後援名義使用依頼があった。経済的負担はなく、後援を応諾したい。

2) 会 計（和氣徳夫副理事長）

(1) 取引銀行の格付と預金残高について [資料：会計 1]

(2) 事務局にて才和有限責任監査法人2名による往査が3月25日に実施され、また1名による現物の実査（現金、通帳等）が4月1日に実施された。

3) 学 術（吉川裕之理事）

(1) 学術委員会関連

(2) プログラム委員会関連

(3) ガイドライン—産科編

① 「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2008」頒布状況について

4月6日現在、入金済11,927冊、後払希望2冊。

② 「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2011」予約状況について（速報値）

4月6日現在、入金済2,954冊、後払希望284冊。

(4) ガイドライン—婦人科外来編

① 「産婦人科診療ガイドライン—婦人科外来編 2011」頒布状況について

4月6日現在、入金済7,084冊、後払希望139冊。

吉川(裕)理事「現在8000部印刷していたが、頒布状況に鑑み、3000部増刷したい。」

4) 編 集（岡井 崇理事）

(1) 会議開催

① 和文誌編集会議ならびにJOGR編集会議を5月20日に開催の予定である。

(2) 英文機関誌（JOGR）投稿状況：2011年投稿分（平成23年3月末現在）

投稿数229編うちAccept11編、Reject74編、Withdrawn/Unsubmitted 39編、Under Revision34編、Under Review 69編、Pending 2編、Expired 0編

岡井理事「和文誌の特集記事を2色刷りにして読みやすくなるように準備をしている。」

5) 渉外 (落合和徳副理事長)

(1) 会議開催

[FIGO 関係]

(1) 2012 FIGO World Congress における Awards Selection について

落合副理事長「本会からは推薦する方はなし、としたい。」

[AFOG 関係]

(1) 東日本大震災義援金について [資料：渉外1]

AFOG からの義援金は、3月末時点でUS\$83,750となっている。

吉村理事長「国内の義援金については、本会は日本産婦人科医会と協力して募っている。海外分と合わせて現地への医師派遣や物資支援等に使って行きたい。」

[ACOG 関係]

(1) Exchange Program に派遣の役員および若手医師へ第63回日産婦学術講演会の延期を通知した。
(3月18日)

星合第63回学術集会長「Exchange Program は中止ということでよいか。」

落合副理事長「当面未定ということで通知し、その後中止を連絡する予定である。」

吉村理事長「Exchange Program は中止と正式決定したことを確認したい。」

[SOGC 関係]

(1) Exchange Program 若手医師派遣人数について

落合副理事長「カナダからの派遣は今後1名に減員するが、本会からの派遣は従来通り3名を受け入れてもらえる、ということである。」

(2) Exchange Program に派遣の役員および若手医師へ第63回日産婦学術講演会の延期を通知した。
(3月18日)

(3) Dr. Lalonde の提案を受け、SOGC Website に東日本大震災義援金寄附について掲載を依頼した。
(3月31日)

6) 社 保 (星合 昊理事)

(1) 疑義解釈委員会より平成22年度第4回供給停止予定品目について検討依頼を受領し、本会理事および社保委員による検討結果を回答した。

(2) 3月5日丸の内東商ホールにて外保連主催による市民公開講座が開催された。

(3) 内保連より、診療報酬点数表への「特定内科系診療(仮称)」新設要望について検討依頼を受領した。

(4) 「第4版 産婦人科医のための社会保険ABC」について700部の増刷が決定した。

7) 専門医制度 (櫻木範明理事) 特になし

8) 倫理委員会 (嘉村敏治委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録 (平成23年3月31日)

① ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録：47 研究

② 体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録：586 施設

③ ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録：586 施設

- ④顕微授精に関する登録：505 施設
- ⑤非配偶者間人工授精に関する登録：15 施設

(2) 着床前診断に関する臨床研究申請・認可について

4月15日現在申請220例〔承認189例、非承認4例、審査対象外18例、取り下げ1例、照会1例、審査中7例〕（承認189例のうち7例は条件付）

平成22年度第5回〔通信〕着床前診断審査小委員会報告 [資料：倫理1]

(3) 会議開催

- ①平成22年度第5回着床前診断に関する審査小委員会を3月22日～28日に通信会議で開催した。
- ②平成22年度第4回倫理委員会を4月4日～7日に通信会議で開催した。

- (4) 扇町レディースクリニックより、AID実施登録施設認可申請について本会より発出した質問状に対する回答があった。これに対する受理通知書を送付したい。〔資料：倫理2、3〕
特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

9) 教 育 (小西郁生理事)

(1) 会議開催

- ①第2回平成23年度専門医認定筆記試験問題作成委員会を3月29日に開催した。第3回作成委員会を5月19日に開催の予定である。
- ②4月22日にACOG派遣予定者打合せ、5月19日にSOGC派遣予定者打合せを開催の予定である。

(2) 「産婦人科研修の必修知識2007」頒布状況について

4月6日現在、入金済4,148冊、校費支払のため後払希望5冊。

(3) 「産婦人科研修の必修知識2011」予約状況について（速報値）

4月6日現在、入金済2,187冊、校費支払のため後払希望90冊。

(4) スプリングフォーラム開催 [資料：教育1、2]

- ①3月5日6日の両日にわたって京都において「産婦人科スプリングフォーラム」を開催した。
- ②第1回スプリングフォーラム開催報告を学会HPならびに学会機関誌に掲載を予定している。
また、参加者向けに写真をダウンロードできるよう準備を進めている。
- ③第2回スプリングフォーラムの催行につきご検討頂きたい。

小西理事「スプリングフォーラムの参加者は68名。参加者アンケートによれば、横の繋がりができたなど、評価は高かった。またワークショップでも下をどのように教育していくかについての良い提案もあった。なおフォーラム自体は少し赤字となったが、卒後6～10年目までの若手にとっては良い機会だったと思う。」

吉村理事長「今後どうやって産婦人科医を続けて行くか、など様々な点からの意見交換があり、大変良い会だったと思う。収支面ではさらに工夫が必要であるようだが、2～3年継続してみても判断するのが良いように思う。まず少なくとも来年は実施する、ということで良いか。」

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

10) 地方連絡委員会 (和氣徳夫副理事長)

(1) 各都道府県組織に対する業務委託料の取扱い及び業務委託契約書の改定について

[資料：地方連絡1、2]

和氣副理事長「この契約書をもって早急に各都道府県組織と業務委託契約を結びたい。」

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

Ⅲ. 理事会内委員会報告並びに関連協議事項

1) 広報委員会 (吉川史隆委員長)

(1) JOB-NET 公募情報について [資料：広報 1]

(2) ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について [資料：広報 2]

(3) ホームページアクセス状況について [資料：広報 3]

吉川(史)理事「3月のアクセス数は、震災の影響で通常の2倍強の38.8万件となった。」

(4) 本会 website 会員専用ページに掲載の武田薬品工業(株)のバナー広告について、4月1日～9月30日の掲載延長が決定した。

(5) 本会 website に一般向け疾患説明のページ(「病気を知ろう」)を公開した。

(6) 本会 website へのリンク許可について

① トップページ

日本放射線技師会 (同会 HP 関係機関等リンク集)

② 東日本大震災に関わるお知らせインデックスページ

日本小児放射線学会 (同学会 HP)

③ 水道水について心配しておられる妊娠・授乳中女性へのご案内

朝日新聞東京本社社会グループ (朝日新聞社会グループのツイッター公式アカウント)

(株) ベネッセコーポレーション 幼児商品開発部 (非常時の子育て情報)

(株) 保健同人社 (同社サイトの「震災後の暮らしと健康」のページ)

日本健康教育学会 (同学会 HP)

④ 災害支援情報のページ

独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター (同センターHP「いきる」に一時的に開設の「いきる・ささえる災害支援情報」のページ)

⑤ 福島原発事故による放射線被曝について心配しておられる妊娠・授乳中女性へのご案内

(特に母乳とヨウ化カリウムについて)

日本健康教育学会 (同学会 HP)

(7) Newsletter Reason for your choice 8号について [資料：広報 無番]

2) コンプライアンス委員会 (平松祐司委員長)

(1) 専門委員会委員および小委員会委員からの COI 自己申告書について

自己申告書は、今年度スタートの女性ヘルスケア委員会を除き、既に提出されている。本年6月に委員交替となるので、その時点で女性ヘルスケア委員会委員も含めて自己申告書の提出を求めたい。特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

3) 医療改革委員会 (海野信也委員長) 特になし

4) 男女共同参画委員会 (竹下俊行委員長)

(1) 女性の健康週間委員会

① イベント報告 [資料：男女共同参画 1]

②広報活動報告 [資料：男女共同参画 2]

(2) 地方部会担当公開講座について [資料：男女共同参画 3]

5) 若手育成委員会 (齋藤滋委員長)

(1) 第5回産婦人科サマースクールについて

4月16日に開催の予定であった打合会は学術講演会延期のため中止となった。別途日程調整を行い開催して、プログラムを決める予定である。なおサマースクールについては8月6日・7日に予定通り開催したい。

参加募集(開始：平成23年5月15日・締切：平成23年6月15日)については予定通り行えるように準備を進めている。

IV. 平成23年度臨時総会運営について

(1) 代議員からの質問・要望事項 [資料：総会 1]

(2) 総会資料の追加、修正 当日配布分 [資料：総会 2]

以上

平成23年度第1回臨時理事会配布資料

資料No.	資料名
	定款、定款施行細則等
	倫理的に注意すべき事項に関する見解
1	平成22年度第4回理事会議事録(案)
2	業務担当理事報告並びに関連協議事項予定内容
総務 1	平成22年度入会年度別・卒業年度別新入会員数推移(2011. 3. 31 現在)
総務 2	公益法人関連記事
総務 3	役員選任に関する件
総務 4	総会運営委員会委員・決算委員会委員
総務 5	平成23年度臨時総会資料表紙・関連会合スケジュール表
総務 6	役員と代議員の兼務に関する論点整理
総務 7	新定款第38条、第39条
総務 8	委員会委員の現任期の延長について
総務 9	震災についての本会の動き
総務 10	東日本大震災に対する医療支援のご協力をお願い
総務 11	要望書
総務 12	福島原子力発電所事故における放射線被曝時の妊娠婦人・授乳婦人へのヨウ化カリウム投与について 他

総務 13	放射線被曝関連新聞記事
総務 14	東日本大震災救援のための患者受入れ並びに医療従事者派遣に関するアンケート依頼
総務 15	第 63 回日本産科婦人科学会学術講演会の会期についてのご案内
総務 15-1	第 63 回日本産科婦人科学会学術講演会延期案内チラシ
総務 16	新型インフルエンザ対策への協力に対する、厚生労働大臣からのお礼状
総務 17	緊急避妊法の適正使用に関する指針普及版の製作許可について
総務 18	平成 22 年度事業報告書、平成 23 年度事業計画書最終版
総務 19	ヒト遺伝子組換え LH 製剤の日本市場導入に関する要望書
総務 20	GnRH アンタゴスト製剤の在宅自己注射に関する要望書
総務 21	事務局顧問契約書
総務 22	厚生労働省よりの周知及び協力依頼
総務 23	ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の疑義解釈について
総務 24	第 28 回日本医学会総会の見直しについて
総務 25	日本医師会の女性医師バンク事業についての周知依頼
総務 26	臨床研究に関する倫理指針に基づく倫理審査委員会情報の報告について
総務 27	日本病理学会からの申し入れ
総務 28	「正常産新生児の診療指針（案）」に関するお願いについて
総務 29	「正常産新生児の診療指針（案）」に関するお願いについて（ご回答）
総務 29-1	日本がん治療認定機構からの委員会開催案内
総務 30	禁煙推進学術ネットワーク第 13 回委員会議事録
会計 1	取引銀行の格付と預金残高
渉外 1	DONATIONS（東日本大震災義援金）
倫理 1	平成 22 年度第 5 回[通信]着床前診断審査小委員会報告
倫理 2	扇町レディースクリニックよりの回答
倫理 3	「非配偶者間人工授精に関する登録」受理通知書
教育 1	2011 年スプリングフォーラムスケジュール
教育 2	第 1 回産婦人科スプリングフォーラム経費報告・アンケート
地方連絡 1	公益社団法人 日本産科婦人科学会業務委託契約書新旧対照表
地方連絡 2	地方部会に対する業務委託料について
広報 1	JSOG-JOBNET 事業報告
広報 2	ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について
広報 3	JSOG ホームページアクセス状況
広報 無番	Newsletter Reason for your choice 8 号
男女共同参画 1	女性の健康週間 2011 イベント報告
男女共同参画 2	女性の健康週間 2011 広報活動報告
男女共同参画 3	地方部会担当公開講座一覧
総会 1	平成 23 年度臨時総会における質問・要望
総会 2	総会資料 補足・修正分
無番	平成 23 年度日本産科婦人科学会予定表